

運営委員会だより

運営委員 須田 章七郎

瀧口代表から『書の表現部会をやってくれない?』と持ちかけられ、「スタジオ楽書会」がスタートして丸4年が経つ。どんな中身で始めようかと思案したが、町中にある書塾のように手本を見て練習するような形にはしたくないと決め、高校の教員として行っていた授業のエキスをカリキュラム化して行った。月1回で始まったこの会も今は月2回となり、毎回8人前後の人が筆を持って書いている。▼「書で自己表現」が高校で教えていた時からの口癖になっている。しかし、教員なりたての私の授業はこうではなかった。教科書通りの授業で、国語も教えていた。ある日、生徒から授業の進め方について追及を受けた。「先生は、私たちが答えた言葉で板書をしていない」厳しい追及だった。私は自分の教材ノートに授業の展開を書き、出来るだけそこに導き出そうとしていた。生徒に気づかせられた25歳のある日の出来事だった。▼生徒会指導が大好きで、毎日のように生徒会室と一緒に弁当を食べながら自治活動について議論をかわした。生徒たちには、「常に問題意識を持って何を変えていくのか考えよう」と話し、生徒総会の議案書や行事づくりに熱くなっていた。生徒会室から書道教室へ入ると別の私がいた。教科書を開き、朱墨で手本を書き添削をする。生徒たちは私の文字を練習す

る。▼ある日、「音楽、美術、書道のなかで最も芸術性があると思うものはどれだろう」と問いかけた。予想したとおり書道に手を上げる者は一人もいなかった。26歳の出来事だった。▼そんな時に滋賀県の書道教師に出会った。「書で人間丸ごと育てる」という言葉にショックを受け、生徒会指導をしている私と書道教室の私を一致させる授業の展開を始めた。教科書は使わない、朱墨も使わない、自分の言葉で表現させる授業に徐々に作り替えていった。▼スタジオ楽書会に来ている人たちのニーズは様々だ。1年に一枚でも気持ちよく書けた作品ができればと思っている。併せて誌上ギャラリーが楽しみの一ページになればと思う。

新シリーズ開始!

連載コラム「エイムズ唯子の心理学の周辺」が前号をもって好評のうちに終了しました。長らくのご愛読ありがとうございました。

今号から新シリーズ「共同研究者の部屋」と「虹色のひろば」(仮題)が始まりました。「虹色」は会員の皆さんからの自由な投稿で交流したいと思います。どんどん原稿(1200文字程度)をお寄せ下さい。内容は自由です。素敵な題名も募集中。

今後の主な予定

- 11月 8日(土) 10:00～ 教育ネットワークぐんま(フォーラム)
- 14:00～ 表現活動部会・和太鼓を楽しむ会(教育会館中会議室)
- 11月 7日(金) 13:00～ スタジオ楽書会(フォーラム) 14:30～ 運営委員会
- 11月 21日(金) 13:00～ スタジオ楽書会(フォーラム) 14:30～ 運営委員会
- 11月 22日(土) 14:00～17:00 近現代史ゼミ「近代天皇制と今」(前橋市総合福祉会館)

育ちと学び No. 22

ぐんま教育文化フォーラム

2014年10月24日 発行

〒371-0026 前橋市大手町3-1-10 教育会館3F

[TEL・FAX] 027-235-8876 [IP電話] 050-3419-3803

[E-mail] g-kyoken@nifty.com

[URL] <http://gkb-forum.sakura.ne.jp>

